

GREETING :挨拶

私の身のまわりで起きたこと、最近私が考えている事。

一年間のお礼と新年のご挨拶

いつも、ありがとうございます。2007年も、残りあとわずかとなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか?

今年も、何かとお世話になった皆様に心からお礼を申し上げたいと思います。**一年間本当にありがとうございました!**

先日、妻と妻の両親と4人で一泊二日の温泉旅行に行ってきました。最高の天気に恵まれ、4人仲良く素晴らしい旅行になりました。妻の両親は、先月39回目の結婚記念日を迎えたのですが、今でもとても仲が良く、我々新婚夫婦にとっては何よりの模範となる素晴らしい夫婦です。

いつも穏やかで温かくお互いを思いやるやさしさいっぱいの二人を見ていると仲の良い夫婦であり続ける、また円満な家庭を築くヒントがたくさん見つかります。

まず最初に、会話が多くコミュニケーションがよく取れていること。これは、夫婦だけでなく親子や上司・部下、あるいは友人関係も含めて、とても大切なことだと思います。妻の両親は日頃から何でも話をし情報を共有しています。よく年月を重ねれば重ねるほど、夫婦の会話が少なくなると言いますが、どんな些細なことでも共有する気持ちがお互いにあれば、決してそうはないのだと二人を見ていて思いました。



次に、お互いに思いやりを持って気遣い合うこと。親しき仲にも礼儀ありという通り、夫婦だからと言って気遣いがなければ、お互いの間に溝ができてしまうのは当然だと

思います。妻の両親は、口を揃えて、「夫婦こそ一番氣を遣う必要がある。その努力がなければ、いい夫婦関係は続かない。」と言っていました。

また、お互いがお互いの役割をしっかりと果たすことも大切だと思います。現代は、いろいろな夫婦の形があるので一概には言えませんが、夫には夫としての、あるいは妻には妻としての役割があるはずです。二人は、お互いの役割をきちんと果たしているように思います。私が見る限り、決して依存し過ぎることなく、甘え過ぎることもありません。依存心が強すぎると、いつしかそれは不満になります。当然、人間ですから誰にも全く依存せずに生きていくことは不可能ですが、それが強すぎてはいけないと思います。誰かに対して不満を感じる時、そこにはその人に依存し過ぎている自分がいるのではないかでしょうか?

二人は、人間としても素晴らしい生き方をしています。家族や友人を大切にし、決して背伸びをせず常に自然体です。

夫婦としても人間としても素晴らしいお手本となる二人が身近にいることに感謝し、見習っていきたいと思います。

まもなく2008年。皆様が素晴らしい一年を過ごされること、心よりお祈り致しております。2008年も、よろしくお願い致します。

感謝!!

FAVORITE :お気に入り

今回は、私のおすすめの本「Seven Powers」をご紹介させていただきます。



幸運をよぶ7つの力

以前紹介した「Good Luck」に続く冒険ストーリーです。ワクワクする物語であると同時に、人生において大切なことがたくさん学べる素晴らしい本です。

- ◆ 勇気を持つこと
- ◆ 失敗は自分が学ぶための貴重な機会だと思うこと
- ◆ 謙虚さを無くしてはいけないということ
- ◆ 信じる気持ちを持つこと

言われてみればそうだとわかっていても、なかなか実践できないことを再認識させてくれます。

著者は、7つの力の本質とは、私たちの心の持ち方だと結論づけています。目の前に起こるいいことも悪いことも、自分の気持ちの持ち方次第で捉え方が全く変わってくる。

嫌なこと・辛いことは誰にでも起ります。ただ、そこから逃げるのではなく、どんなことにも前向きな姿勢で向き合い、自分を成長させていくという考え方で日々過ごすことができれば、自然と人生は開けていくのではないでしょうか?

読み終わった後、とても爽やかな気持ちになれる本です。この本を読んで、日々のしがらみやストレス・悩みを是非吹き飛ばしてください!

皆様にGood Luck!



『Seven Powers』

著者
アレックス・ロビラ
田内志文 訳
ボプラ社出版
定価
1,000円(税込)